

山田町の方のつぶやき

ボラパックⅡでは、昨年の活動に比べて直接山田町の方々と接する機会が多くあります。毎便、参加者の皆さんが聞いた現地の方の声を書き留めていただきました。その「つぶやき」をまとめた用紙をガイダンスで配布し、出発する前の心の準備の一つとして目を通していただいていたいました。今年の「つぶやき」の一部をこちらで紹介합니다。



今はこういうものを作るのが一番の楽しみ。

津波は見てからでは逃げられない！

この人はダンナさんがいないから気兼ねしないで一緒に写真撮ってもいいよ。

自然に荒らされたけど、自然と生きていく。

私たちがこの震災のことを次世代の子どもたちに伝えなくてはいけない。

今度はゆっくりきてね。

いつどこにおるときでも津波のことを考えてる。どこに行けばどこに逃げるか考えてる。

みなし仮設は交流がなくてさびしい。

どうせ、私のことなんて、すぐ忘れるんでしょ？

長生きしたくない。

2年経って、今はもうこの景色があたり前になっている。

生きなければ
今がない。

毎日毎日が幸せ。

ストレス発散法はボランティアさんと接して話すこと。

津波のすぐ後はこんなに笑えなかった。

家族が2つに分かれてバラバラ。

三重にももうすぐ来るね。

津波のことは、もう忘れたよ。

津波ですべて流されてしまっても、作ったら、なんとかなる。

復興ってどういうこと？元の状態に戻すことなら、お母さん返してよ。

今日は月命日。やっぱりあの日の事を思い出してしまう。

あなたたちの元気が私たちの元気になるからね。

遠くから、わざわざありがとう。私は家も娘もみんな流されたからねえ。

嫌なことは、3歩歩いて忘れるもの。

仮設での生活は楽しみが無いので来て良かったです。

私は目が見えないけれど、みんなの思いとパワーをもらったよ。本当にありがとう。ありがとう。

津波で家が無くなっちゃったから、宮古に転校するんだ。

将来、復興を担う今の中高生の意見を聞いてみるのが重要。

桜があったけどどこかに流れて行った。隣の家も。でも、ここが一番。

復興にはあと100年かかる。

みえの人たちにはお世話になったの。だから来てくれるだけで嬉しいの。

今日は気持ちよく寝られる。

私も震災時は本当にこわい思いもしました。でも今、こうやって仕事ができるので幸せです。

「津波てんでんこ」は、家族同士の信頼関係がないとうまくいかないよ。

がれきがなくなると町が消えてしまうみたいでさみしい。

津波から1年、2年、と月日が経つごとに不安は増す。今でも毎晩、津波のことを思い出すので、夢中になれる時間をつくってもらったことに感謝しています。

漁師町(山田)の女は強いよ。

私は家が残っているからなかなか集会所に来れなかった。
初めて来て楽しかったから、これから集会所を利用して交流したい！

2年経って初めて、震災前に近所だった人が生きていたこと知った。
ここにきたから再会できた。きっかけをつくってくれてありがとう。

こうやって来てもらえるだけでありがたい。
何か恩返しをしたいよ。

こんなに笑ったのは、すごく久しぶり。
震災前以来かもしれない。

修理は出来ても新しく家を建てる事が出来ないんですよ。

震災前は夏に観光客が多かったけど、今は浜が無くなってしまったから来なくなった。

自分で作ったものを飾って見ていると心がなごむ。
同時にみえの人たちの事を思い出している。

目の前で家が流された。
2年は頑張れたが、もう疲れた。

せっかくボランティアの方たちが来てくれても、若い世代はあまり参加しない。
いつも同じメンバーが集まっているだけ。

震災がなかったらあなたくらいの年の子がまだここにいたのに、震災がすべてを変えてしまった。

お姑さんからいつも地震のあとはすぐに逃げなさいとおしえられてたの。
それで孫は、助かったの。
伝えるって大事よね。

みえボラさんが来るって聞いて楽しみに待っていたの。

また来てもらったんですね。前にお会いしたこと覚えています。
遠い所、何度もありがとう。

せっかく助かった生命、一度伊勢神宮に参拝に行きたいので頑張って働く！

僕がんばる！負けないぞ！

みえボラさんのお陰で元気になった。
感謝している。三重県が大好き。

服はほとんどもらいもの。

何もかも津波がわるい。

若い人の力をもらって、生きる希望がわきました。

強く生きているということをたくさんの人に伝えてほしい。

今までに経験したことのないゆれにあつたらすぐに逃げること。
絶対に家にものをとりにもどらないこと。

わすれないでね。

男性は外出して交流しようとしな、男女の差。

人に話そうとすると、3月11日に戻ってしまう。
だから、人に伝えることができなかつた。1年半経った頃から、ようやく人に話せるようになった。

元の生活が戻ってくる事は無い。
何をもって復興と言うのか、復興はありえるのか。

震災後2年も経つのに、遠い三重から来て、色々支援して頂き感謝している。
何のお礼も出来ない事が悔しい。

山田町っていいところ、みんなにおしえてあげて。

